

授業概要

この授業では、中国語の発音、基本単語、基礎文法を習得し、教員やクラスメートとの会話練習を通して、日常生活で最もよく使われる中国語の基本的表現を身につける。また、中国関連の紙資料、視聴覚資料を通して中国現代社会、中国文化、中国歴史などに対する理解力を高めていく。

授業計画

第 1 回	①ガイダンス：中国と中国語の概況、②第一課 声調
第 2 回	第一課 (つづき) 母音
第 3 回	第二課 子音など
第 4 回	第三課 鼻音を伴う母音など
第 5 回	第四課 変調など
第 6 回	第一課～第四課のおさらい
第 7 回	第五課「どうぞよろしく」文法ポイント
第 8 回	第五課「どうぞよろしく」本文・会話練習
第 9 回	第六課「お名前は」文法ポイント
第 10 回	第六課「お名前は」本文・会話練習
第 11 回	第七課「ご出身は」文法ポイント
第 12 回	第七課「ご出身は」本文・会話練習
第 13 回	第八課「飲み物は」文法ポイント
第 14 回	第八課「飲み物は」本文・会話練習
第 15 回	第五課～第八課のおさらい
第 16 回	定期試験

到達目標

この授業は次の 2 点を主な目標とする。①中国語の発音、基本単語、基礎文法を習得すること、②中国の社会、文化、歴史に対する理解力を高めること。

履修上の注意

中国語は「発音良ければ半ばよし」という言葉があるように、授業以外の時間を利用して教材の発音を聴きながらたくさんの発音練習を行う努力が必要である。

予習・復習

外国語は決して一朝一夕で習得できるものではない。また、授業の時間だけでは不十分である。授業以外の時間を利用して復習と予習を確実にってから、授業に参加すること。

評価方法

期末試験 (50%)、小テスト (35%)、授業態度 (15%)

テキスト

- ・教科書名：『日中いびこみ交差点 エssenシャル版』
- ・著者名：相原 茂・陳 淑梅・飯田 敦子
- ・出版社名：朝日出版社

授業概要

テキストに従い、中国語の発音と文法の基礎を学習する。発音は、授業で繰り返し練習させることで、正しい発音を定着させる。語彙と文法は、基礎的文法事項を解説した上で、文章の翻訳練習、平易な会話文の学習をする。会話の学習については、グループ学習により、日本語訳、置き換え練習を行い、学生同士が確認し合い、お互いに気づきを与え合うようにする。授業は中国語検定試験準四級への対応も視野に入れて行う。

授業計画

第 1 回	発音 (1) 母音、子音
第 2 回	発音 (2) 複合母音と四声
第 3 回	発音 (3) 鼻音を伴う母音
第 4 回	発音の小テスト; 第 1 課 単語・ポイント: ①人称代名詞 ②“是”の文
第 5 回	第 1 課 会話、トレーニング 1
第 6 回	第 2 課 単語、ポイント: ①指示代名詞(1) ②疑問詞疑問文 ③“的”の用法 ④副詞
第 7 回	第 2 課 会話、トレーニング 2
第 8 回	第 3 課 単語、ポイント: ①動詞の文 ②「所有」を表す“有” ③省略疑問の“呢”
第 9 回	第 3 課 会話、トレーニング 3
第 10 回	第 4 課 単語、ポイント: ①量詞 ②指示代名詞(2) ③形容詞の文 ④“几”と“多少”
第 11 回	第 4 課 会話、トレーニング 4
第 12 回	第 5 課 単語、ポイント: ①数字 ②日付・時刻を表す語 ③「動作の時点」を言う表現
第 13 回	第 5 課 会話、トレーニング 5
第 14 回	第 6 課 単語、ポイント: ①「完了」を表す“了” ②「所在」を表す“在” ③助動詞“想”
第 15 回	第 6 課 会話、トレーニング 6
第 16 回	筆記試験の実施

到達目標

中国語の発音と表記、基礎的な中国語の文法を身につける。そして、基礎的な文法を運用し中国語で模擬会話を行うことができる。読む・聞く・話すといった総合的な言語能力を身につける。中国語の基礎的な構文を覚え、それらを活用したコミュニケーション能力を養うことを目標とする。

履修上の注意

自ら積極的な姿勢で講義に臨んでほしい。

予習復習

事前に CD 聞いて、単語、会話を熟読することが望ましい。
授業後は、単語、本文を覚えるように努めること。

評価方法

期末筆記試験 70%、小テストと課題 20%、受講態度 10%により総合評価する。

テキスト

- ・教科書名:『最新 2 訂版 中国語はじめの一步』
- ・著者名:竹島 金吾・尹景 春・竹島 毅
- ・出版社名:白水社
- ・出版年:2012